

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

8 年 4 月 24 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	山木工業株式会社
所 在 地	〒970-8036 福島県いわき市平谷川瀬三丁目 1 番地の 4
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 片桐 剛寿
担 当 者 連 絡 先	電 話：0246-23-1301
	メール：so-yama@yamaki-ind.co.jp 担当：総務部
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://yamakiind.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

山木工業株式会社は昭和 16 年創立の、福島県いわき市の港湾・土木・建築の総合建設事業者である。自社船団を所有し、小名浜港を中心に海洋土木工事の施工を行っている。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	本社、小名浜事業所及び建設現場の CO2 排出量の削減	2030 年 CO2 排出量削減目標 31%削減(売上原単位)(2021 年比)
✓環境 □社会 □経済	保有する作業船の高性能化	2030 年までに、温室効果ガス排出量が少ない 新しい作業船を導入する。
□環境 ✓社会 ✓経済	コンプライアンスの徹底と社内教育強化	コンプライアンス教育の充実と強化 ハラスメント発生件数 0 件の達成

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止規定を就業規則に明記 ・ハラスメント等に対する相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働時間等、法令遵守を徹底 ・時間外、休日労働時間を各部長と総務部のもとで管理								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生管理計画書の作成、労働安全衛生に関する明記 ・日常安全パトロールの実施 ・月1回、安全衛生委員会の実施			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年1回、ストレスチェックを実施			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・「働く女性応援」中小企業認証 ・福島県次世代育成支援企業認証					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・外部研修費用・資格取得費用を会社にて負担				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康事業所宣言 ・ふくしま健康経営優良事業所認定			3					8									
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・事務所内ゴミ分別の徹底後、市へ委託排出を依頼 ・エコキャップ運動へ参加											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ふくしまゼロカーボン宣言事業(旧福島議定書事業)に継続参加(2006年～)							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・電力・ガソリン・軽油(社有車両について)等、各使用量の把握と報告を実施 ・前年比より削減する目標を社内に設置。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・材料の安全データシート(SDS)を入手し、有害化学物質についての確認を実施			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ 環境マネジメントシステム ISO14001 の取得			3.9			6	7						12	13.3	14	15	
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ ISO推進室にて環境レポートを作成(2006年度～)													12.6				
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2							13			
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる														12.2	13	14	15	
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9										12.4				
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 品質マネジメントシステム ISO9001 の取得									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 省エネ建材「ルナウェア」を販売						6							12	13	14	15	
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 年1回の献血協力 ・ いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動への参加 ・ いわきサンシャインマラソン協賛、いわき花火大会ボランティア参加				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・ 地元高校からのインターンシップの受け入れ、出前授業の実施								8	9		11	12	13				

